

男女共同参画社会って？

男女共同参画って聞いたことあるけど、なんか堅くて難しい感じ。私には関係ないことかな？
いいえ、「男女共同参画社会」は、私たちの身近にある大切なことです。

6月23日から30日は、男女共同参画週間です。この機会に一度、一緒に考えてみませんか。



みなさんはどう思うでしょう？

家庭では

こんな社会をめざしています

- ◆男性が洗濯物を干したり、買い物に行ったりするのは体裁が悪いな。
- ◆介護はやはり、娘やつれあいなどの女性に任せたいな。
- ◆女性には生まれつき母性本能があり、子育ては母親がするのが一番だな。



男性は仕事、女性は家事・介護・育児というように、性別で役割分担を固定していないでしょうか。男性だから、女性だからという見方ではなく、家族一人ひとりの考え方を尊重し、認め合い、みんなで支え合う家庭をめざしましょう。

地域では

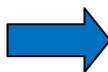
- ◆自治会長や地域の役員などは、やはり男性にしてもらいたいな。
- ◆地域の会合や行事では、いつも女性が飲食などの世話をしているな。
- ◆近所や地域のつきあいは、男性の名前でするほうが自然だな。



地域活動で、昔からの慣習によって男女の役割が決まっていないでしょうか。男女ともに地域の一員として、主体的に協力しながら地域活動を進められたら、人間関係が密接になり、より一層自分のまちの良さを実感できるのではないのでしょうか。

職場では

- ◆育児休暇や介護休暇は、女性が取得するものじゃないかな。
- ◆女性は、結婚や出産を機に退職するのがいいかな。
- ◆責任のある仕事は、男性がする方がいいんじゃないかな。



個性、能力、意欲などが十分に発揮でき、男女ともに職場で充実できる、いきいきと働きやすい環境づくりをめざしましょう。
また、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を進めることも大切です。

男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、男性も女性も互いを認め合い、協力しながら、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関係なく、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

私たちは、生活のあらゆる場面で「男性、女性だから」と考えたり、当然だと思い込んでいたりすることで、「こうあるべき」と他の人に考えを押し付けていませんか？
性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性を大切にして、誰もがいきいきと暮らせる社会づくりを進めましょう。

平成26年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ最優秀作品



宇陀市人権啓発活動推進本部